

2024年5月29日
東洋スチレン株式会社

**千葉県市原市とポリスチレンケミカルリサイクルプラント稼働に伴う
拠点回収に関する事業連携協定を締結
～行政と連携したサーキュラーエコノミー実現を加速～**

東洋スチレン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：石塚 賢二郎）は、ポリスチレンケミカルリサイクルプラント稼働に伴い、筆頭株主であるデンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫、以下「デンカ」）とともに、千葉県市原市（市長：小出譲治、以下「市原市」）と、市原市内で発生した使用済みポリスチレン製品の拠点回収に関する事業連携協定を、2024年5月24日に締結致しました。


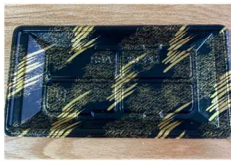



SDGs 未来都市である市原市は、循環型社会形成の推進に資することを目的として「市原発サーキュラーエコノミーの創造」を掲げており、2023年7月から9月にかけて使用済みポリスチレン製品の試験回収を実施しました。その結果をもとに、2024年7月より公共施設などを利用した使用済みポリスチレン製品の拠点回収を開始いたします。回収した使用済みポリスチレン製品は、当社のポリスチレンケミカルリサイクルプラントに順次投入し、熱分解することにより再生されたリサイクルスチレンモノマーを使用した「リフレッシュポリスチレン®」として再び社会に供給いたします。

今後市原市と当社およびデンカは、本協定を契機として、さらに密接な協力関係を築き、市原市内で発生した使用済みポリスチレン製品の回収システムの更なる展開を加速させるとともに、サーキュラーエコノミーを実現することで、地域社会の発展に貢献してまいります。

当社は、これからもデンカと連携してポリスチレンケミカルリサイクル事業を推進し、コンソーシアムの確立、本格的な社会実装を実現することで、ポリスチレンがサーキュラーエコノミーに適した素材であることを広く社会にお示しし、脱炭素・循環型社会の構築に取り組んでまいります。

以上

【本取り組みの回収品目】

発泡系				非発泡系
発泡白色トレイ	発泡色付きトレイ	納豆容器	発泡スチロール	乳酸菌飲料容器
				

【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社公式ホームページ）】

- ・ 2024年3月19日 「“国内最大” 行政と連携したポリスチレン・ケミカルリサイクルが始動」
http://www.toyo-st.co.jp/cgi-bin/toyo-st.cgi?name=ts_240319&type=pdf
- ・ 2022年1月11日 「使用済みポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルプラント建設を決定」
http://www.toyo-st.co.jp/cgi-bin/toyo-st.cgi?name=ts_220111&type=pdf
- ・ 2020年4月13日 「ポリスチレン樹脂のケミカルリサイクル事業について」
http://www.toyo-st.co.jp/cgi-bin/toyo-st.cgi?name=ts_200413&type=pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

管理本部

または技術本部サステナビリティ推進室

電話：03-3519-5600 FAX：03-3519-5605